

## 二セ電話気づかせ隊団体表彰

福岡ひびき信用金庫では、平成29年3月1日から、3年間ATMでキャッシュカードによる振込実績のない70歳以上の高齢者についてはATMで振込みができないようにする取組を県内で初めて開始しました。



職員に対しては、文書の発出や研修会により二セ電話詐欺について学ぶ機会を設けて、阻止事例や被害事例を挙げ、被害未然防止の意識を向上させています。管轄警察署と連携を図り、合同で街頭キャンペーンを実施するなど広報啓発を実施しています。現在実施している取り組みを継続しながら、今後も高齢者とのコミュニケーション作りにも努め、相談しやすい関係の構築、より一層の被害未然防止に努めていきます。

### 福岡ひびき信用金庫

飯塚信用金庫では、年度初めの全店職員会議で、詐欺被害撲滅を掲げ役員全員に意識付けを行っています。顧客に対しては、チラシや電子掲示板、ATMの操作画面で注意喚起を行っています。実際に、窓口や相談対応で被害を阻止した事例もあり、2回被害を阻止して二セ電話気づかせマイスターに認定された職員もいます。今後も、今までの対策を継続していき、被害撲滅に取り組んでいきます。

### 飯塚信用金庫

株式会社九州日立システムズ北九州支店は、北九州市を中心に約800箇所の銀行ATMのメンテナンスを行っている会社です。業務でATMを巡回することから、会社内の朝礼などで社員に対して二セ電話詐欺に関する教養を実施しています。ATMを訪れた際には、積極的に声かけを行うようにしており、犯人からATMに呼び出された高齢者に、社員が声をかけて被害を阻止しました。今後も、社内教養とATMでの声かけを継続して行い、被害阻止に努めていきます。

### 株式会社九州日立システムズ北九州支店

別府校区ふれあいネットワーク第5班では、二セ電話詐欺被害防止の注意喚起文等を掲載した「第5班ふれあい」というチラシを作成し65歳以上の高齢者約300世帯に配付しています。年4回、スタッフ会議を開催し、二セ電話詐欺に関する情報交換を行っています。スタッフは独居世帯などの見守り世帯を訪問して注意喚起を実施、校区掲示板を活用して広報チラシを掲示しています。高齢者から「不審電話がかかってきた」と知らせてくれるようになりました。今後も継続して二セ電話詐欺被害防止に努めていきます。

### 別府校区ふれあいネットワーク第5班



# 二セ電話 気づかせ隊通信

第8号

発行・編集

福岡県警察本部生活安全総務課  
〒812-8576 福岡市博多区東公園7番7号  
TEL:092(641)4141(内線3025、3044)  
ホームページ:http://www.police.pref.fukuoka.jp

## 二セ電話気づかせ隊推進委員会の開催

平成29年7月24日、福岡県警察本部において二セ電話気づかせ隊推進委員会が開催されました。

福岡県知事や福岡県警察本部長、推進委員が出席し、平成28年中の活動優秀団体への表彰や活動事例発表が行われました。

### 福岡県知事(推進委員長)あいさつ

委員の皆様と一緒に、県民運動を展開してきた結果、昨年は約4億円の被害を阻止することができました。

本年の被害件数等は増加傾向にあり、予断を許さない状況が続いています。今後も二セ電話気づかせ隊の活動がより効果的になるよう取り組んでいきましょう。

### 福岡県警察本部長(推進副委員長)あいさつ

二セ電話気づかせ隊の活動は大きな広がりを見せており、被害未然防止活動が積極的に進められています。

しかし、犯人側も手口を変化させるなどし、本年6月末の被害は、わずか半年で昨年1年間の被害に迫る勢いで非常に厳しい情勢です。

今後とも二セ電話気づかせ隊の普及、活動促進をお願いします。

## 二セ電話気づかせ隊団体表彰

《金融機関表彰者》



### ◎金融機関部門(8部門)

- ・福岡ひびき信用金庫
- ・飯塚信用金庫
- ・福岡銀行筑後支店
- ・大牟田地区金融機関防犯連絡協議会
- ・福岡銀行折尾支店
- ・西日本シティ銀行三ヶ森支店
- ・とびうめ信用組合
- ・西日本シティ銀行宇佐町支店

《一般部門表彰者》



### ◎一般部門(6部門)

- ・拳和警備保障
- ・ふくおか見守り隊(第一生命北九州総合支社)
- ・大牟田警察署少年補導員連絡会
- ・株式会社スリーエス
- ・別府校区ふれあいネットワーク第5班
- ・株式会社九州日立システムズ北九州支店

被害状況(平成29年7月末)

認知件数 **368件** 被害額 **6億1,909万円**  
 前年同期比+175件 前年同期比+2億2,599万円  
 ※認知件数は約9割増加 ※被害額は約6割増加

実際にあった事例と対策

**事例 オレオレ詐欺** 被害者方に息子を名乗る男から電話があり「扁桃炎で声が変わっている。株で損をし、会社の金を500万円使い込んだ。今日中に何とかならないか。」と言われました。  
 被害者は銀行で現金をおろし、会計事務所の職員を名乗る男から電話で場所を指定され、そこで待っていた男に現金を手渡しました。

**対策!** 元々知っている本人の電話番号にかけてみて、本当かどうか確認しましょう。息子の知人や同僚などを名乗っても知らない人にお金を渡さないようにしましょう。

**事例 還付金詐欺** 被害者方に市役所保険課を名乗る男から「医療費の払戻しがある。手続きのため取扱いの銀行名を教えてください。」という電話がありました。その後、銀行の職員を名乗る男から電話で「手続きのため商業施設のATMへ行ってください。」と言われ、電話で指示を受けながらその通りにATMを操作し、知らない口座に現金を振り込みました。

**対策!** 役所や銀行の電話番号を調べ、その番号に電話して事実かどうか確認しましょう。ATMを操作してもお金が振り込まれることは絶対にありません。

手口を知っていてもだまされるのが二セ電話詐欺！  
 皆様の一言が多くを被害を防いでいます！！



二セ電話防止機器の活用をご検討ください

事前に登録した迷惑電話番号を自動で **着信拒否**  
 相手に通話を録音することを **事前警告**  
 電話に出る前にアナウンスで **注意喚起**  
 通話内容を **自動録音**

家電販売店で購入出来ます。

電話でお金はすべて詐欺！すぐに相談110番！

有料サイト名目の架空請求詐欺対策に！！

電子マネー型詐欺啓発用収納袋

県内のコンビニエンスストアでは、多発する電子マネー型詐欺の被害を防止するため、高額の電子マネーカードを販売する際に「詐欺が多発中！！」と書かれた収納袋に入れて注意喚起を行っています。



実際の阻止事例

被害者の携帯電話に「有料サイトの未納料金が発生している。連絡がなければ法的措置をとる。」とのメールが届きました。被害者がメールに書かれた電話番号に連絡すると「料金を滞納している。支払いはコンビニで電子マネーカードを購入し、その番号を教えるように」と指示されました。被害者は、犯人の指示通りにコンビニに行き、電子マネーカードを購入しようとした。コンビニ店員は電子マネーカードを販売する際に、電子マネーカードを収納袋に入れて「詐欺ではありませんか」等と声をかけたところ、被害者が店員の注意喚起と収納袋に書かれた啓発文を見て、詐欺の被害に遭っていること気づき、被害に遭わずに済みました。

ATMの振込利用制限

全信用金庫による共同実施

本年8月21日から、福岡県内に本店がある全ての信用金庫で高齢者を対象にATM振込利用制限を開始しました。(福岡ひびき信用金庫については、本年3月1日から開始済み)  
 70歳以上、かつATMで3年以上キャッシュカードによる振込実績のない人を対象にATMでの振込みをできないようにして、還付金詐欺などの被害を防止する取組です。



8月9日、福岡県信用金庫協会において「ATM振込利用制限開始宣言式」が開催され、同協会会長による二セ電話詐欺被害防止への取組を強化する共同宣言が行われました。

北九州銀行による実施

本年7月18日から、北九州銀行が高齢者を対象にATM振込利用制限を開始しました。70歳以上、かつATMで1年6カ月以上振込実績のない人が、ATMで振込をする場合、1回あたりの限度額を10万円とするものです。

ご高齢の方が二セ電話詐欺の被害遭うことを防ぐための取組です。